

# コース選択

## コース選択の流れ

- 4月 入学
- 6月 第1回コースガイダンス  
学生によるコースガイダンス
- 9月 第2回コースガイダンス
- 11月 学生によるコースガイダンス
- 12月 学科・コース志望届提出
- 1月 所属コース決定！！

(※2019年度の場合)

◆大阪市立大学文学部では、2回生から学科・コース(領域)に所属します。1回生の間に、基礎論・概論とよばれる入門的な授業を受けたり、教員・学生によるコースガイダンスに参加したりして自身の興味をじっくりと探すことができます。

◆学科・コースの定員数を超過する志望があった場合は、原則1回生前期の成績順による選抜が行われます。

◆コース選択においては、研究テーマだけでなく問題意識やアプローチも重要になります。たとえば、左図のように「大正時代」というテーマを1つ取り上げても、様々な観点からのアプローチが可能だということがわかります。

◆どのようなアプローチがしたいのか、そのためにはどのコースに進むとよいのか考えることが、興味を探究するためのコース選択にとって大切です。先輩方の体験談も参考にしましょう。

## ◆コース選抜

2回生から学科・コースに所属できる市大文ですが、希望人数が定員数を超過した場合には、一定のルールに従って選抜が行われます。必ず希望した学科・コースに所属できるというわけではなく、場合によっては選抜が行われる可能性があるということに注意してください。

## ◆興味探求(大正時代を例に)



人間行動学科  
教育学コース2回生  
西垣 和奏 さん

◆入学当初に興味があったことは何ですか？  
日本史です。社会科、とくに日文学部を選びました。

◆何を参考にしましたか？  
概論と、コースガイダンスを参考にしました。入学前の興味はまああんな概論・基礎論を受けたので、ためて考えてみることにしました。

まず、人間行動学概論という授業で、地理学コースに興味をもちました。授業では先生だけではなく先輩方のお話も聞くことができ、コースのイメージが掴みやすかったです。

そして、コースガイダンスでは教育学コースに興味をもちました。教育学コースが扱うのは学校教育だけではなくというお話が印象深かったです。実はこのとき、入学当初の教員という夢に疑問を持ち始めていたので、改めて色々な教育について考えてみたいと思っていました。

◆最後にコースを選んだ決め手は何でしたか？  
「自分は何と何の関係について研究したいのか」が決め手でした。主観を含みますが、地理学は「人と土地」、教育学は「人と人」の関係について研究するのだと思っています。私は「人と人」に焦点を当てたいと思い、教育学コースを選びました。

◆入学当初に興味があったことは何ですか？  
入学当初は日本語や宗教等、雑多なものに興味がありました。これといって勉強したいものが定まっていた訳ではありませんでした。

◆何を参考にしましたか？  
興味のあるコースの概論や基礎論は出来るだけ履修するようにしていました。その中からいくつかの候補に絞り、最終的には学生によるコースガイダンスで各コースの先輩から実際に話を聞くことが出来たのが大きかったと思います。

◆最後にコースを選んだ決め手は何でしたか？  
私が最初に社会学コースを選択肢の一つとして検討し始めた理由はその間の広さでした。私は入学当初から興味がありました。最終的に「なるほど」と聞き社会学コースに興味を持ち始めました。最終的な決め手になったのは研究手法です。社会学コースでは聞き取り調査やアンケートの結果から統計を取って分析することでしたので、自分が持つ疑問の答えがしっかりと出たのではないかと、そこに魅力を感じました。



人間行動学科  
社会学コース2回生  
砂川 能輝 さん

## 特任教員紹介

- ・ドイツ語フランス語国語文化コース  
ジモン・エルトレ 特任准教授
- ・表現文化コース  
江村 公 特任講師
- ・都市文化研究センター  
石川 優 特任助教